

# 主婦ソサエティーオブハワイ 創立57周年総会 日本とハワイ、新しい社会貢献も活発に

日本文化をハワイに伝え、日本とハワイ  
双方の親交を深めあう活動を続けてきた『主婦ソサエティーオブハワイ』(有川啓子会長)。3月19日に創立57周年を祝う総会が開かれ、青木高子日本国総領事夫人、アン・コバヤシ元ホノルル市議員、ドン・アマノ・イゲ前州知事夫人ら150人以上が参加した。

午前の部では、日本文化を披露。伝統継承者の方々が、着物や袴姿で壇上に上がり、お琴、詩吟、書道、茶道の箱点前などが実演された。また雛飾りや百人一首、陶芸、生け花なども展示された。

総会では有川会長が'22年度の活動を報告。

ビショップ博物館を見学しハワイの歴史講習会を開いたこと、毎年定例の愛媛丸メモリアル清掃、乳がん啓蒙セミナーなど多彩な活動の一端が紹介された。

また、ハワイ大学日本研究センターへの

毎年の寄付、ハワイに移住したウクライナ家族への支援、日本の被災地支援、東日本大震災で被災した学生をハワイに招き、ハワイ体験や交流のサポートなども報告された。

有川会長はさらに、「私はニューヨークで、日米の学生の留学や学校同士の交換留学など教育の仕事をしてきました。その経験を活かし、'23度からは、ハワイのローカルの若者への教育プロジェクトも始めていきたいと考え、主婦ソサエティーの会員の皆さんも賛同してくださいました。ハワイの若者が、日本や日本語、日本文化に興味を持ち、勉強をしたいという希望と夢をサポートする活動も新たに始める計画です。」と、伝えた。

また、会員のアキコ・グレリンさんには90歳の卒寿を祝って、レイと祝辞が贈られた。

ランチの後は、ハワイ初ボーズグルー

プ“Crossing Rain”の特別ライブに。'22ミスハワイのLauren Teruyaさんの司会で、歌と踊りが披露された。客席にはスティックライトが配られ、虹色に光るライト片手に参加者もノリノリに盛り上がった。Crossing Rainのメンバーもステージを降りて客席を回りながらキレッキレのパフォーマンスを繰り広げ盛況のうちに総会をしめた。

(取材・文 奥山夏実)

## NPO主婦ソサエティーオブハワイ

ハワイに日本文化を紹介し、その交流を通じて相互理解を深め、多彩な文化の催しと地域社会への貢献活動を行う。会員の愛好会も多彩で、国籍・性別・年齢・主婦の有無を問わず参加できる。

【年会費】\$30  
【問合せ】P.O.BOX23119,  
HONOLULU, HI 96823-3199

